

SolidWorks Toolbox 完全セットアップガイド

ネジ・ベアリング挿入を劇的時短する | CADHACK チートシート

このPDFはCADHACK記事「SolidWorks Toolboxの使い方と設定」の印刷用要約版です。SolidWorks 2018~2025で動作確認済み。

1. Toolboxとは何か

Toolboxは、JIS・ISO・ANSIなど各国規格の標準部品（ボルト・ナット・ベアリング・ピンなど）をドラッグ&ドロップで配置できるSolidWorks付属のライブラリ機能。

比較	Toolboxなし	Toolboxあり
M6ボルト追加	自分でモデリング (5~10分)	ドラッグ&ドロップ (10秒)
サイズ変更	再モデリングが必要	プロパティで即変更
BOM品番管理	手動で入力	カスタムプロパティと連携可

2. Toolboxの有効化手順

- ツール → アドイン を開く
- 「SolidWorks Toolbox」「SolidWorks Toolbox Browser」の両方にチェック
- 「アドインを起動時にロード」にもチェック（次回から自動起動）
- OKで確定 → 設計ライブラリパネルにToolboxが表示される

3. 初期設定：パス設定が9割（ここを雑にしない）

- ツール → オプション → システムオプション → ホールウィザード/Toolbox
- 「Toolboxフォルダ」のパスを確認
- チームで使う場合 → 全員がアクセスできるサーバーフォルダに変更
- 全員のPCで同じパスを参照するよう統一する

警告：パスがバラバラだと「Toolboxパーツへの参照が見つかりません」エラーが発生。チーム導入時は初日にパスを統一するのが最優先。

4. 部品の挿入方法

- 設計ライブラリパネル（右側タブ） → Toolbox を選択
- 規格（JIS / ISO / ANSI） → カテゴリ（ボルト / ナット / ベアリング）を展開
- 使いたい部品をビューポートにドラッグ&ドロップ
- プロパティパネルでサイズ・長さ・規格を指定
- 配置後に合致を追加して位置を固定

5. よくあるエラーと対処法

エラー・症状	原因	対処法
Toolboxパーツの参照なし	PCごとにパスが違う	サーバーパスに全員統一
部品が崩れて表示される	Toolboxバージョン不一致	全員のSWバージョンを統一
ドラッグしても配置できない	アドインが無効	ツール→アドインで再チェック
BOMに品番が出ない	カスタムプロパティ未設定	Toolbox設定でプロパティを追加
ファイルが重くなった	コンフィグが大量生成	不要なコンフィグを定期削除

6. チームで使うときの3つのルール

- ① サーバーの同一フォルダをToolboxパスに指定する（全員必須）
- ② SolidWorksのバージョンを全員そろえる（バージョン混在NG）
- ③ Toolboxを直接編集しない——カスタマイズはコピーしてから行う

Pro Tip : 使う規格（JIS / ISO）だけに絞ってToolboxを設定すると起動が速くなる。ISOとANSIは使わないなら無効化しておくのが吉。